

IMF サーベイ

IMF の財源

対 IMF コミットメント、4,300 億ドル 越え：融資財源倍増へ

IMF サーベイ・オンライン
2012年4月20日



(左から)：IMF の財源拡大に関する新たなコミットメントを記者会見で発表するカルステン・メキシコ中銀総裁、ミード・メキシコ財相、シャンムガラトナム IMF 議長、及びラガルド IMF 専務理事 (写真：IMF)

- IMF の財源拡大に向け幅広く合意
- IMF 加盟国、更なる危機防止のための防火壁の構築は「絶対に不可欠」で一致
- この資金は IMF の全ての加盟国の潜在的な資金ニーズに利用可能となる

先進並びに新興市場国・地域からなる 20 カ国グループ (G20) は、IMF 加盟国と共に、IMF の融資能力を 4,300 億ドル以上拡充するとしてコミットメントに合意した。クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事は 4 月 20 日の記者会見において、この新たなコミットメントにより IMF の融資能力はほぼ倍増すると語った。

IMF はかねてから、更なる金融危機の発生を抑止するためには、財源を積み増しして世界的な防火壁を強化することが必須と主張してきた。ラガルド専務理事は、[4月19日の記者会見](#)で、世界経済は「弱気な」回復期に入ったが、リスクは依然として高く、IMF は世界経済の安定化に向け、その融資能力を強化することにより国際的な回復の取り組みに参加しなければならないと述べた。

世界的経済危機が 2007 年に発生して以来、IMF は 3,000 億ドルを超える融資を加盟国にコミットしてきた。また、危機に対応するため、低所得国向け政策の改革も実施し、譲許的融資を 4 倍に拡充した。

ワシントンでの IMF ・世銀春季会合で開かれた 4 月 20 日の会合ののちに、G20 と IMF の政策諮問機関である国際通貨金融委員会 (IMFC) が発表した[共同声明](#)は、IMF の利用可能な資金を、4,300 億ドル以上拡充するとの確固たるコミットメントが存在すると述べた。同声明はまた、この資金は IMF の全ての加盟国のために利用可能であり、特定の地域に限定されるものではないとしている。

さらに「こうした取り組みは、各国・各地域において過去数ヶ月間にとられてきた構造、財政、及び金融上の措置とともに、国際金融の安定性を守り、世界経済の回復をより健

全な基盤に乗せるという国際社会のコミットメントを示すものである」と同声明は述べている。

力強い決意

ラガルド専務理事は、[声明](#)の中で、この G20 による誓約は「国際金融の安定性を確保し、世界経済の回復をより健全な基盤にのせるという国際社会の力強い決意」を伝えるものだと言った。

「この資金は危機の防止と解決のために用意されるものであり、IMF の加盟国全体の潜在的資金ニーズに応えるものだ」とし、さらに「この資金は必要な場合のみに引き出され、引き出された場合は利息とともに返済される」と専務理事は述べた。

ターマン・シャンムガラトナム IMFC 議長は、G20-IMFC 会合後に開かれた記者会見で、IMF の財源強化による更なる危機の発生を抑止する防火壁の構築は、欧州・非欧州国と、先進国・新興市場国間の幅広いコンセンサスの下で合意されたものだ」と語った。

同議長は「防火壁の強化は現時点で絶対に不可欠だということで全員一致した。防火壁の構築が 1 日たりとも早すぎることはありえない」と述べる一方で「ただし、我々は、危機の真の解決策は防火壁とは無関係だと認識している。防火壁は不可欠だが、今回の危機の解決の条件としては全く不十分だ」と議長は述べた。

自信を築く防火壁

「真の解決策は、特に欧州を中心とする地域で、この危機の真の根源にメスを入れる財政改革と構造改革に関連している。防火壁を築いておけば、真の解決策に取り組む際に自信を与えてくれる」とシャンムガラトナム議長は語った。

メキシコのホセ・アントニオ・ミード財務大臣は、G20 大半のメンバーは、IMF の融資財源の拡充という G20 のコミットメントへの貢献を選択したと述べ、これは「国際社会全体が、我々のこれまでの選択に非常に満足していること」を示すものだと言った。

アグスティン・カルステンズ・メキシコ中銀総裁は、IMF の融資能力の増強は、一つの重要なステップであるが、危機対策の一要素に過ぎないと強調した。「各国はそれぞれ異なる形で寄与してきた。どの国も自国に合った手段と能力をもって貢献している」とカルステンズ総裁は語った。

ラガルド専務理事は、記者会見で、IMF の財源強化のための加盟国からの正式かつ具体的なコミットメントは 3,600 億ドル以上に達すると述べた。4,300 億ドル以上にのぼる総額との差額は、誓約国の批准待ちのコミットメントである。

同専務理事はまた、G20のコミットメントは、危機を防ぐためのツールを利用可能にするという国際社会の決意を示すものだと記者会見で語った。「我々は、規則に従い、債権者の利益が確実に守られるよう十分に留意し、適切なリスク緩和戦略を講じながら、この資金を賢明に利用していく所存である」と報道陣に語った。

また、G20-IMFCの共同声明は、IMF財源の強化に関する合意は「国際金融の安定性を守り、世界経済の回復をより健全な基盤にのせるという国際社会のコミットメントを示すもの」と述べている。

ラガルド専務理事は声明のなかで「追加財源に関する我々の要請に対してとられた幅広い対応は、全ての加盟国の利益となる形での世界経済と金融の安定性の強化に資することになる」と語った。

■ G20 サミットは、6月にメキシコのロス・カボス市で開催される。